



消化器科  
山西 浩文

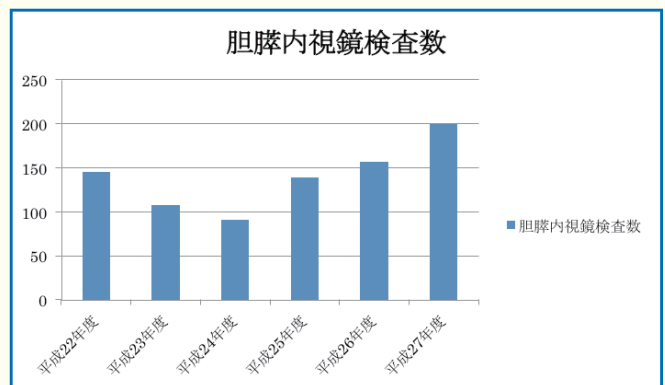
### 当院の胆膵疾患に対する治療の工夫

これまで主に胆膵領域(胆嚢、胆管、膵臓)の治療に関わってきましたので、紀南病院の胆膵領域の診療について紹介させていただきます。胆膵領域の内視鏡処置としては内視鏡的逆行性膵胆管造影検査、内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的胆道ドレナージ術、内視鏡的胆道結石除去術があります。図1に示しますように平成22年度より徐々に件数が減っていましたが、平成25年より増加傾向となり、平成27年度は3月11日の時点で200件となっています。紀南地区の特徴はやはり高齢者に対する治療が多いことです。高齢者では身体機能の低下に伴い偶発症が生じやすく、低侵襲、ADLを考慮した上で効果的な治療を行うことが重要です。これらの考慮した当科の胆膵疾患に対する治療の工夫について紹介させていただきます。

胆道癌は高齢者を中心に年々増加傾向です。胆道癌は早期発見が困難で高齢者では外科的加療を行うことは稀です。平成21年4月から平成26年2月の期間に当院で経験した65歳以上の高齢者胆道癌症例では半数以上が80歳以上であり、ほぼ全例が緩和治療を選択されていました。胆道癌では黄疸、胆管炎が必発であり、内視鏡的胆道ドレナージ術の適応となります。胆道ステントにはプラスチックステントと金属ステントがあります。一般的にプラスチックステントは偶発症が少ないがステント閉塞が生じやすく、金属ステントは偶発症が多いがステント開存期間が長いと言われてきました。当院の検討ではプラスチックステントと金属ステントでは偶発症の頻度に差はなく、開存期間は金属ステントで長いことがわかりました。この結果から自宅で過ごせる時間を長くするため、当科では積極的に金属ステント留置を行っています。

急性胆嚢炎は日常診療でよくみられる疾患で経皮経肝胆嚢ドレナージ術(PTGBD:胆嚢を穿刺、チューブを留置して体外に排出する)がよく行われます。高齢者の多くは抗血栓薬を内服しておりPTGBDにおいて出血の危険性が高くなります。また、高齢、併存疾患などで胆嚢摘出術が行えない場合は、ドレナージチューブを一生留置する必要があり、ADLに影響します。認知症の患者さんでは自己抜去の危険性があります。当科ではこのような症例に対して十二指腸から胆嚢内にドレナージチューブを留置する内視鏡的経乳頭の胆嚢ドレナージ術を行い、手技の安全性、ADLを追求しつつ、患者、家族の負担を減らせるようにしています。

図1



胆膵領域の内視鏡処置では鎮静剤を使用しますが、高齢者では呼吸抑制、誤嚥など呼吸器系偶発症のリスクが上昇します。呼吸器系偶発症の指標はこれまで酸素飽和度のみでした。呼吸器系偶発症を早期に発見するため、麻酔科に協力して頂き、呼気終末二酸化炭素濃度、呼吸回数、酸素飽和度、脈拍数の4種類の測定値を用いて呼吸状態を評価するカプノストリーム™を導入しました。当科での検討で、カプノストリーム™は呼吸器系偶発症を酸素飽和度測定より早期発見できることが確認されました。この結果を昨年12月にAsia Pacific Digestive Disease Week(台北、台湾)、今年の5月にDigestive Disease Week(サンディエゴ、米国)といった国際学会で発表する機会を得ました。この成果を患者様に還元し、より安全な胆膵内視鏡処置を確立していきたいと思っております。

他科との共同研究がスムーズに行え、新しいことに対して看護師、放射線技師をはじめとした他職種の方々が積極的に協力して頂けることが当院の魅力であると思っております。一般診療のみではなく、臨床研究も行い、紀南地区の診療に貢献していきたいと思っております。

今年度からこれまで消化器診療に多大な貢献をして頂いていた谷口先生が転勤され、人手不足のためこれまで通りの診療を行うことは困難と思われませんが、皆様にはこれからも引き続きご協力の程、宜しくお願いします。



## 1年の修了に際し

歯科口腔外科  
研修医  
仲河 良祐

紀南病院歯科口腔外科研修医の仲河と申します。今年の3月で1年の臨床研修を修了いたしました。多くの方にご迷惑をお掛けし、またご指導いただきながら自分なりに食らいついてこられたような気がしております。まず初めに、この場をお借りして、今までお世話になりました皆様方に、心より御礼申し上げます。

この度、記事掲載のお話をいただき、ちょうど研修終了の時期でもありますし、この1年を振り返ろうかとも思いましたが、怒涛の勢いで通り過ぎたこの1年の、その少し前に起きた、自分にとっての大きな峠の話を書いてみようと思います。

私は大学受験で1年浪人したのち、2009年に鹿児島大学歯学部に入學。6年を鹿児島の地で過ごし、昨年の春から地元和歌山へと帰ってまいりました。

大学6年の時、私は学年の国家試験対策委員長としていろいろな雑務に追われておりました。実際、立派な肩書は名ばかりで、中身はただの雑用係でしたから、「酷使」委員長などと自分自身で皮肉りながら仕事をしておりましたが、一年をかけ、全員の気持ちが高まっていくのを真ん中で感じながら、素敵な時間を過ごせたなと思っておりません。

平成27年1月31日・2月1日の2日間で行われた第108回歯科医師国家試験。2日間で午前・午後の計4冊の問題を解きましたが、2日目午前の試験終了5分前で解答用紙の一部のマークのズレに気付くという事件が起きます。必死で書き直したものの、無情にも終了の合図。もちろんその時点で手を止めざるを得ないわけですが、一体どこからマークがずれ始めたのかわからぬまま解答用紙は回収されていきました。そこからの昼休みの時間はとても長く、誰と何を話したのか全く覚えておりません。

何とか気分を立て直し、2日目の午後の試験を終え鹿児島への帰路についたわけですが、その新幹線の中で緊張の糸が切れてからは、恐怖と震えが、寄せては返す波のように胸を襲います。「卒業旅行だ!」と浮かれる周囲を尻目に、自己採点する気などまったく起きぬまま、黙々と引越し作業をすすめ、2月の中頃にひっそりと和歌山へ戻り、ここからはただ漫然と時間を浪費するという生活。今思えば、貴重な時間を本当にもったいないことをしたと思いますが、「委員長なんかしてるから落ちるんだ」なんて言われるのではないかという被害妄想が胸にたまと、どうにも恥ずかしい感情や、情けない気がして当時は力が入らなかったのです。

そして運命の3月18日。合格発表は昼からでしたが、家にはとても居られる空気ではなかったので、とりあえず一人車で外に出ました。エンジンを切り、スマホから合格発表のホームページを何回も更新し、刻一刻と迫るその時を待ちました。そしてやっと繋がったページ。何故かはわかりませんが、数ある数字の羅列の中から一瞬で自分の受験番号が目に飛び込んできました。何度も更新ボタンを押し、受験番号を確認。その最中に母親からの電話が鳴り、「番号あったね。おめでとう。」の声を聞いたところから、鳥肌が止まらなかったのを覚えています。またほぼ同時に、いま現在お世話になっている、歯科口腔外科部長の大亦先生からもお電話をいただきました。「番号確認しました。おめでとう!」フワフワしていた感情が、少しずつしっかりとした喜びの感情に固まっていきました。

ですがその喜びに浸るのもほどほどに、僕は急いで車を走らせました。向かった先は、実家の歯科医院です。当時屋からの診療中だった父に伝えに行かなくてはと、いつもより急ぎ目で車を走らせました。

チャイムを鳴らし、診療中の父が裏口から顔を出します。きっと父は発表の結果を伝えに来たのを知っていたはずですが、強がってか「どうした?」と素知らぬ顔をして聞いてきたのが、印象的でした。返す刀で「受かったよ」と一言言ったところで、二人して泣きながら抱き合ったことは一生忘れないだろうと思います。

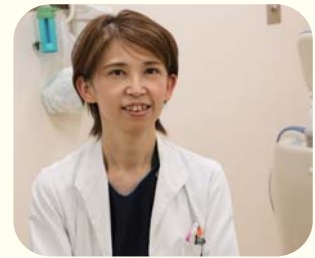
長々と、とりとめもなく書かせていただきましたが、最後に。

父と抱き合い涙しているとき、父は涙ながらに「ありがとう」と言ってくれました。「おめでとう」ではない、その言葉の意味をかみしめながらこの1年はなんとかかんとか食らいつきながらでも頑張れたように思いますし、これからも頑張っていけるだろうと思います。

そんな、「親バカ」ならぬ「バカ息子」(意味が変わってしまうかもしれませんが(笑))ですが、皆様になるべくご迷惑を掛けないように、少しずつ恩返しの気持ちでまた1年こちらの病院でお世話になりますので、何卒よろしく願いいたしますと記し、拙文を閉じさせていただきます。最後までお読みいただきありがとうございますございました。



### 医療現場における 歯科口腔外科の役割について



歯科口腔外科  
木本 奈津子

2004年10月より紀南病院に赴任させていただき、現在まで大亦主任部長の下、多くの患者様に関わらせていただきました。和歌山南部はもちろんのこと、北部から近隣県からも患者様を多数ご紹介いただいております。

私が赴任させていただいた当初より重症菌性感染をはじめとした歯科疾患はもちろんのこと口腔悪性腫瘍、口蓋裂、顎関節症、顎変形症、顎顔面外傷骨折、口腔粘膜疾患など歯科口腔外科の必要性役割は多岐にわたると常日頃感じ、診療させていただいております。

上記疾患に加え、最近では高齢者の数が急増し当科にご紹介いただく患者様の多くは様々な疾患をもった有病者の方が殆どです。また薬剤の開発が進み他科治療も幅広くなり対応するためには多くの知識が必要となってきました。以前は糖尿病、心疾患、脳外科疾患などの患者様が多く見受けられましたが、最近では他科での悪性腫瘍加療中、あるいは血液疾患加療中、また自己免疫疾患の患者様なども増加し口腔疾患は全身疾患の中の1疾患であると認識されているからと感じております。



歯科口腔外科医師とスタッフ

多数ある中で1つ例をあげさせていただきます。骨粗鬆症に対し整形外科あるいは内科からビスフォスフォネート(BP製剤)が処方されていることが多くなっています。また悪性腫瘍の骨転移に対しても注射用BP製剤、あるいは分子標的薬が投与されているケースが増加しています。これらの薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)のリスクはさほど高くないですが0ではなく、当科でも病的骨折を来すようなStageⅢの顎骨壊死をきたした患者様の治療を行っているケースもあります。BP製剤が骨組織に吸収されそれを貪食した破骨細胞の機能が阻害されることによりおこるとされており、感染源の多い顎骨に壊死がおこるとされています。

このような薬剤を使用する際には、抜歯など口腔内の観血処置の施行の有無に関わらず、顎骨壊死を回避するため口腔内の管理が必要です。他科疾患の治療中の口腔内の管理者であるという意識が私たち歯科口腔外科で働く者に求められる時代であると考えています。周術期管理も重要となり心臓血管外科をはじめとして外科、整形外科疾患に対しても術前術後にわたり口腔内管理者として関わらせていただいております。

今後も口腔外科疾患のみならず、全身疾患患者の口腔内管理者として日々精進したいと考えております。近隣開業歯科医院の先生方にも情報を伝達できればと考えております。今後とも紀南病院歯科口腔外科を宜しくお願いいたします。



# 速報!

## 紀南病院 DMAT 出動

4月16日未明に熊本でM7.3の地震が発生し、厚生労働省DMAT事務局からDMAT出動要請を受け、当院からは是枝大輔隊員と山林正英隊員が出動しました。

17日に現地に到着し、熊本赤十字病院で災害対策本部に入り本部活動を行いました。18日は現場で患者搬送等の活動を行いました。

現地ではなお活発な地震活動が続いております。今後さらに被害が拡大する可能性もありますが、当院としても可能な限りの支援をさせていただきます。

詳しくは次号にて……

# 病院のまど

## 第58回市民健康講座について

大腸がんは日本では2番目に多いがんです。一方で早期発見、早期治療ができれば7～8割の方が完治することができます。急増している大腸がんの最新の検査方法と治療についてお話しします。

日時 平成28年5月15日(日)  
午後2:00～3:00

演題 大腸がんについて  
～検診から治療まで～

演者 宮寄 安晃(紀南病院 外科医長)

会場 紀南病院 3階講堂

## 寄附金のお礼

平成28年3月28日、七階西病棟に入院されておりました小西良造様のご子息の小西泰輔様より、金一封の御厚志を頂戴いたしました。この場をお借りして御礼申し上げます。

## 入学式

4月7日(木)に42回生の入学式が行われ30名(男子4名、女子26名)が新たに入学しました。

## 看護の日

5月2日(月)に、幅広い知識や経験から、看護に関連させるといふ目的で、看護の日の行事が行われます。今回、私達が住んでいる地域と歴史を「もっと知ろう」ということで田辺市探訪ふれあい散策、第3弾を行います。

学校便り

編集後記

新緑の季節、新社会人や新入生の方々は5月病が心配される時期です。

私自身は、子供が今年2人同時に社会人となり嬉しいことではありますが少し淋しい気持ちです。

別の意味で、親が5月病になりそうな気もします。

新社会人や人事異動をされた皆さん気を付けて下さいね。

T.T

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	: 〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	: 〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	: 〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	: 〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	: 〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	: 〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	: 〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	: 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	: 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**  
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本社  
〒640-8287 和歌山県和歌山市手平 3-8-43  
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店  
〒595-0012 大阪府北摂中町2丁目5番28号  
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室  
〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺768番地の13  
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所  
〒646-0011 田辺市新庄町 2744 番地  
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所  
〒647-0072 新宮市橋本 20 番 22 号  
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133

■奈良営業所  
〒632-0082 天理市荒崎町 56 番地の 4  
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810